

令和3年第4回雲仙市議会定例会

市長報告 (開会)

令和3年12月6日

雲仙市長 金澤 秀三郎

はじめに、新型コロナウイルス感染症への対応について報告させていただきます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、10月6日に長崎県全体の感染段階がステージ1に引き下げられ、11月における県内の新規感染者の確認は4名であり、一定落ち着いた状態が維持されております。

このような状況を受け、観光業への支援として長崎県民を対象とした県の宿泊割引が再開したことに合わせ、市民の市内宿泊料金を補助する雲仙市緊急宿泊促進支援事業の実施期間を11月末から12月末までに延長いたしました。

また、11月11日からは、事業者を支援する「雲仙市事業継続支援金」の申請受付を開始し、12月2日時点での申請件数が182件、支給済額は計1,005万6千円となっております。

新型コロナワクチン接種につきましては、本市における12歳以上の方の接種率は、11月29日の時点で、1回目が87.0%、2回目が84.8%となっており、現在、国からのワクチン供給量を基に、適切な個別接種の対応を図る

とともに、3回目の接種に向け、医師会と協議を重ねているところでございます。

次に、8月の大雨災害の対応について報告させていただきます。

土砂災害の被害を受けた雲仙温泉の復興に役立てていただきたいとして、ふるさと納税を利用した災害支援寄附金を含む各種団体及び個人の方々からの寄附金、義援金及び見舞金につきまして、11月30日現在で888件 2,680万8,114円いただいております。

雲仙温泉地域の状況でございますが、土砂災害の影響により休業となっておりました小地獄温泉館が、11月5日、関係者のご努力により、営業を再開されました。

11月11日には、環境省により再整備された旧児童公園の名称と、昨年新たに出現した地獄の愛称が発表され、それぞれ「極楽公園」と「いぶき地獄」に決定し、雲仙温泉街の新名所として、復興に弾みがつくことを期待しております。

これまで、全国の多くの皆さまからご厚情を賜っておりますことに深く感謝申し上げますとともに、これまで以上の雲

仙温泉街の復興が成し遂げられるよう取り組んでまいります。

次に、市民の皆様の活躍につきまして、報告させていただきます。

【秋の褒章の受章について】

11月3日、令和3年秋の褒章が発令され、南串山町の豊島美繪子様、雲仙市食生活改善推進員連絡協議会の会長として、多年にわたり地域住民の健康増進を支援されてきたご功績により、緑綬褒章を受章されました。

また、国見町の堺光憲様が、26年間にわたり保護司として地域のためにご尽力されたご功績により、藍綬褒章を受章されました。

【健康の部における活躍について】

9月8日、千々石町の林田浩美様が、多年にわたり雲仙市食生活改善推進員連絡協議会の副会長などを歴任し、特に子育て中の母親など若い世代を対象とした食育への取り組み

が評価され、「栄養関係功労者厚生労働大臣表彰」を受賞されました。

【産業の部における活躍について】

10月22日、小浜町在住で長崎県理容生活衛生同業組合理事長の伊藤博昭様が、長崎県理容業界の発展に寄与する組織活動の推進や衛生措置の改善向上等、顕著なご功績により、令和3年度生活衛生功労者といたしまして、厚生労働大臣表彰を受賞されました。

【ジュニアスポーツの部における活躍について】

10月30日、31日に行われた、第41回全日本バレーボール小学生大会長崎県大会において、小浜諏訪男子バレーボールクラブが準優勝を果たし、12月25日から行われる第36回全九州小学生バレーボール男女優勝大会に出場されることになりました。

【教育の部における活躍について】

10月28日、「令和3年度学校保健及び学校安全表彰」

におきまして、大塚小学校・川床小学校の学校歯科医 朝永
歯科医院 朝永公正様と神代小学校が、学校保健推進の功績
により、文部科学大臣表彰を受賞されました。

11月21日、「第34回全日本マーチングコンテスト」
が開催され、九州代表として出場した小浜中学校吹奏楽部の
皆様が、18年連続の全国大会出場という偉業を成し遂げら
れたなか、「銀賞」を受賞されました。

【地域文化の部における活躍について】

10月28日、有機農業と種の自家採取に取り組み、雲仙
市の伝統野菜「雲仙こぶ高菜」を地域の仲間呼びかけ復活、
販売にまでつなげたことが評価され、吾妻町の岩崎政利様が、
第36回長崎県地域文化章を受章されました。

この度、様々な分野においてご活躍され、また、受賞をさ
れました皆様方に対し、心からお祝い申し上げますとともに、
なお一層のご活躍を期待しております。

続きまして、主な市政の取り組み等につきまして、第2次雲仙市総合計画の基本方針に基づき、報告させていただきます。

【基本方針1「暮らしと安心」の分野について】

地域福祉の取り組みにつきましては、11月23日、「令和3年度雲仙市金婚祝賀式」を開催し、市議会議員の皆様にご臨席を賜り、ご出席された20組のご夫婦へ祝賀状と記念品をお贈りして祝福させていただきました。

地域防災体制の強化につきましては、11月7日、市民一人ひとりの防災意識の向上と市及び関係機関、自主防災組織の防災力向上を目的とした雲仙市防災訓練を実施いたしました。

この訓練を実施するにあたり、ご協力いただきました千々石町自治会長の皆様、関係機関の皆様に感謝申し上げます。

暮らしの安全確保につきましては、11月19日、雲仙警察署と「犯罪被害者等支援の連携協力に関する協定」を締結

いたしました。

今回の協定締結により、犯罪被害者等が受けた被害の早期回復及び軽減並びに犯罪被害者等の生活の再建のための支援が円滑に行われるものと期待しております。

【基本方針 2 「産業と交流」の分野について】

生産基盤の整備につきましては、11月20日、山田原第2土地改良区の竣工式及び記念碑除幕式が開催されました。

本土地改良区の基盤整備につきましては、平成24年度に事業採択され、10年の年月をかけて完成したものであり、これまでの関係者の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

物産振興及び販路拡大の推進につきましては、10月23日、24日、大丸福岡天神店エルガーラ・パサージュ広場において開催された「九州探検隊魅力発信マルシェ」に観光姉妹都市である霧島市と合同で出店し、両市の特産品等をPRいたしました。

11月29日、雲仙市の物産を活用していただいております株式会社 僖成様と、物産販売促進による地域活性化を図

ることを目的とした基本協定を締結いたしました。

今回の協定締結により、関係事業者様と連携した物産販売促進の強化と、地域産業のさらなる発展に努めてまいります。

観光・交流の取り組みにつきましては、10月24日、旧雲仙小中学校を活用した、新たな交流コミュニティ拠点「雲仙BASE」がオープンし、雲仙BASEプロジェクト実行委員会によるオープニングイベントが開催されました。

11月13日、「岩戸こもれびコンサート」が開催され、長崎OMURA室内合奏団及び瑞穂中学校吹奏楽部の演奏が、厳かな雰囲気ただよう岩戸神社を舞台とした自然のコンサートホールに響き渡りました。

11月15日、「第1回ナショナルパーク・サミット in 雲仙」を雲仙市及び雲仙温泉観光協会並びにONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構の共同により開催し、雲仙市の各種取組を紹介するとともに、全国から集められた関係者により、食・温泉などの魅力向上や、その魅力を伝える人づくりについて情報交換を行い、決議された宣言の下、今後も相互に連携を図りながら取り組んでいくことを確認いたしま

した。

11月28日、「雲仙サンカクマルシェ2021」を開催し、豊かな自然の中で、市内の旬な特産品等の出店、野外工作教室や体験活動のほか、雲仙白雲の池を舞台とした「天幕レストラン」では、市内の食材をふんだんに使用したフルコース料理が提供され、大いに賑わいました。

また、同日には、町歩きをしながら音楽や食を楽しむ、「こうじろフェス vol. 5」が開催され、鎮西学院大学と国見高校吹奏楽部の演奏や、長崎大学の学生と協力し地元食材を活用した料理の提供など、さまざまなイベントが行われ、大いに賑わいました。

観光・交流につきましては、各地域の特性を生かして実行委員会等での取り組みがなされており、ご尽力されました各実行委員会の皆さまをはじめ、関係各位に対し心から感謝申し上げます。

【基本方針3「社会基盤と産業」の分野について】

主要道路整備につきましては、島原半島3市で構成します愛野・小浜バイパス建設促進期成会におきまして、各市の市

長、議長とともに、10月11日、長崎県知事、長崎県議会議長、自由民主党長崎県支部連合会に対し要望を行い、10月21日には国土交通省長崎河川国道事務所長、さらに、11月4日には九州地方整備局長に対し要望を行いました。

また、12月1日には長崎県にもご同行いただき、松尾議長様とともに国土交通省及び財務省に対し、市単独の要望を行いました。

今後も関係機関と連携しながら、早期事業化に向け取り組んでまいります。

社会基盤の整備につきましては、10月19日、「令和3年度雲仙市優秀工事表彰式」を開催し、令和2年度に完成した工事の中から厳正な審査により、「赤間漁港海岸高潮対策工事（11工区）」を施工された宅島・野崎特定建設工事共同企業体様、「市道愛野関・首塚線改良工事」を施工された株式会社大建様、「国見支団第6分団詰所新築工事」を施工された柴崎建設株式会社様の3社及びこれらの工事を担当された配置技術者を表彰いたしました。

I C Tを活用したまちづくりにつきましては、雲仙市超高速ブロードバンド基盤整備事業が完了し、11月15日から、市内全域での光通信サービスの利用が可能となり、日常生活、教育、産業など様々な分野で幅広く活用されることを期待しております。

ごみ減量化の推進につきましては、10月24日、長崎県の主催により、食品ロス問題に対する関心を深め、食品ロス削減の重要性を周知することを目的とした「ながさき食ロスゼロ運動イン雲仙」が開催されました。

【基本方針4「人材と郷土」の分野について】

スポーツ活動に親しめる環境づくりにつきましては、10月24日、Jリーグの21歳以下の選手を中心としたメンバーによるJエリートリーグが、V・ファーレン長崎のホームゲームとして雲仙市において開催されました。今後も、質の高いスポーツに触れる機会の創出に努めてまいります。

文化財の保存・活用につきましては、11月13日、小浜

町出身で日本昔話研究の開拓者として知られる民俗学者、関敬吾氏の生涯と功績を紹介する動画が完成し、関係する地域の方々をお招きして、披露会及び上映会を開催いたしました。

なお、この動画につきましては、動画投稿サイト「YouTube」により視聴できるよう発信しております。

青少年の健全育成につきましては、12月4日、雲仙市青少年・子ども育成会議の主催による「第16回雲仙市少年の主張大会」が開催されました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、市内各中学校代表7名の中学生による開催とされ、学校や家庭で感じたこと、社会に対しての提言などの発表が行われました。

最優秀賞を受賞された、千々石中学校2年の末岡志帆さんは、来年度開催予定の「第44回少年の主張長崎県大会」の出場選考に雲仙市代表として推薦されると伺っており、心からお祝い申し上げますとともに、今後のご活躍を期待いたしております。

【基本方針5「協働と戦略」の分野について】

市民活躍のまちづくりにつきましては、9月23日、「コロナに負けんど！ くにみの日2021」と称し、国見町3箇所におきまして打ち上げ花火大会が開催されました。

実施団体の皆様をはじめ関係各位のご尽力に対し、心から感謝申し上げます。

きめ細かな情報発信につきましては、12月1日、雲仙市のホームページをリニューアルいたしました。今回の改修で、高齢者や障害がある方にも見やすい構成を心がけ、また、各種SNSと連携する機能を整備しており、今後、さらなる情報発信の強化に努めてまいります。

ふるさと納税の取り組みにつきましては、10月1日、インターネットを利用してふるさと応援寄附金の申込を受け付ける際に、窓口的な役割となるポータルサイトとして「auPAYふるさと納税」を新たに追加し、合計7社をご利用いただけるようにいたしました。

最後に、令和2年国勢調査について、11月30日、確定値が公表され、本市の人口は41,096人であり、前回調査の平成27年と比較いたしますと、3,019人減少しております。

今回の調査結果では、全国的な人口減少が加速していることが伺えており、本市におきましては、これまでの人口減少対策の取り組みを止めることなく、少しでも効果を表せるよう様々な施策を展開してまいります。